



## J R加太駅舎について ～築83年、昭和から続く名駅舎～

本年4月下旬に、西日本旅客鉄道株式会社より、「J R関西本線加太駅（亀山市加太市場地内）については、今年度に既存の駅舎とトイレを撤去し、簡素な駅舎とする。ただし、自治体が既存駅舎を地域活性化拠点として活用する考えがあるのであれば、本市へ無償譲渡することも可能。」という申し出がございました。

加太駅は、昭和40年代のSLブームの際には、関西本線随一の難所「加太越え」に挑む蒸気機関車の雄姿を撮影するため、多くの鉄道ファンが降り立った名駅舎であり、地域としても現駅舎を地域活性化拠点として活用していきたいとの意向がございました。

また、本市の第2次総合計画における基本施策では、公共交通機関の利便性向上と利用促進、地域の歴史を伝える文化財の適切な保存と活用、さらに、歴史文化遺産を活用した観光促進を図ることとしております。

こうしたことから、西日本旅客鉄道株式会社からの申し出を受けて検討した結果、亀山市といたしましては、加太駅舎の無償譲渡を受け、市有財産として改修・整備を行い、利便性の向上、鉄道利用者数の増加を図り、歴史観光資源としても活用するとともに、地域と連携した地域活性化に取り組んでまいります。

現加太駅舎（昭和11年建築・約102㎡）

